

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和8年(2026年)3月3日

札幌市立前田中学校

1 本年度の学校経営の基本方針

- 生徒、家庭、地域と一体になった教育活動の推進と明るく元気な挨拶とコミュニケーションの通い合う学校
- 認め合い、学び合い、高め合いを育む教育活動の充実
- 「子どもの声を聴く」姿勢を常に意識する
- 生徒一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくりと教師と生徒の構築

2 本年度の学校経営の重点

- 「学ぶ力」「豊かな心」「健やかな体」を育成する教育課程の編成と教育活動の展開
- 課題探究的な学習を取り入れた、分かる・できる・楽しい「授業づくり」の充実
- 共感的な生徒理解と、場面に応じた積極的かつ効果的な生徒指導の推進
- 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
- インクルーシブ教育と特別支援教育の推進
- 生徒の自主性や自立性、他者への思いやり、自己有用感を高める教育活動の展開
- 保護者、関係諸学校、地域社会との連携協力を基盤とした、相互の信頼関係の構築
- 互いに信頼し合い、チームとして共通の理念に向かう同僚性の高い教員集団づくり
- 日常的な研鑽、互いの切磋琢磨による資質の向上と専門性の深化

3 自己評価結果および学校関係者評価者による評価

領域	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学校運営 ・ 教育課程	学校経営の重点目標や経営方針は、学校や生徒の実態からみて適切なものになっており、全教職員の共通理解のもとで推進されている。	A	今後も、各種調査等による実態把握を踏まえ、学校経営方針の妥当性を検証しながら、全教職員の共通理解のもと、継続的な推進を図る。	AAA	AAA
	学習指導要領に基づき、教育課程の編成・実施は適切なものになっている。	A	学習指導要領に基づく教育課程について、実施状況の検証を行いながら、引き続き適切な編成及び運用に努めていく。	AAA	AAA
学習指導	基礎・基本の確実な定着を図る学習活動が行われている。	A	生徒アンケートにおいて授業理解に関する肯定的回答が向上していることを踏まえ、基礎・基本の確実な定着を図る指導の一層の充実に努める。	AAB	AAB
	自ら疑問や課題をもち、主体的に解決する課題探究的な学習を取り入れた授業の工夫を行っている。	A	課題探究的な学習を取り入れた授業実践を継続するとともに、来年度からは校内研修で新たに3ヵ年計画で生徒が主体的に課題解決に取り組む学習活動のさらなる充実を図る。	AAA	AAA
	指導と評価の一体化を意識し、計画に基づいた信頼性と妥当性のある適切な評価を行っている。	A	今年度より全教科において前期・後期の2期制を導入したが、前年度からの校内研修等の成果を踏まえ、進路指導を含め大きな混乱なく適切な評価を行うことができた。教科会等において年間評価計画の見直しを行い、評価の信頼性及び妥当性のさらなる向上を図る。	AAA	AAA
	家庭での学習につながる指導の工夫と改善により、自ら学ぶ習慣づくりを推進している。	B	生徒アンケートにおいて家庭学習習慣に関する肯定的回答が各学年で向上している。特に3年生においては、進路指導による学習意識の高まりやTODOリストの活用等の取組が成果につながったものと考えられる。しかし、より一層推進するために、各学年の取組を共有し、実態に合わせて工夫したり、1・2年生での進路学活の充実、主体性を育む授業の充実を図る。	AAA	AAB
特別活動 道徳 総合的な 学習	年間指導計画に基づいて計画的に総合的な学習の時間を実施し、キャリア教育と関連付けながら、探究的な学習を行っている。	A	宿泊学習や修学旅行等の行事と関連付けるとともに、生き方や進路学習を軸とした探究的な学習を計画的に実施することができた。次年度は、各学年の取組内容の共有を図り、学校全体での実践の充実につなげる。	AAA	AAA
	年間指導計画や学年の計画に基づき、計画的に道徳の授業を行い、豊かな心を育む道徳教育を行っている。	A	スマホ安全教室等の全校道徳や、発達段階に応じた性に関する学年道徳を年間計画に基づき実施することができた。また、ローテーション道徳の実施により、多様な視点から生徒のよさを見取る指導の充実を図ることができた。今後も継続的な実施を通して、豊かな心を育む道徳教育の充実に努める。	AAA	AAA
	生徒総会等を通じて生徒の自主性や協働性を育み、学校生活や学校行事への主体的な参画を促している。	A	生徒総会等の生徒会活動や各行事における大綱審議、各委員会活動を通して、生徒が学校生活や学校行事の企画・運営に主体的に参画する機会を確保することができた。今後も自治的活動の充実を図り、生徒の自主性及び協働性の育成を推進していく。	AAA	AAA

	学校行事や学級活動等を通して、生徒同士の望ましい人間関係の形成や社会性の育成に努めている。	A	学校行事や学級活動を通して、生徒同士が協力して活動する場を設定し、望ましい人間関係の形成や社会性の育成を図ることができた。行事後の「ありがとうカード」等の取組も相互承認の感度の高まりにつながっていると考える。今後も集団活動の充実を通してより良い人間関係づくりを推進していく。	AAA	AAA
生徒指導	日常生活の中でのあいさつや時間を守る態度、身だしなみなどの基本的な生活習慣の定着を図るとともに、マナーや公共のルールを守る規範意識の育成に努めている。	A	生徒アンケートにおいて生活習慣や規範意識に関する項目の肯定的回答の割合が全学年で向上している。各学年及び生活委員会の取組が成果につながったものと考えられる。また、教員による指導も生徒指導研修等を通して、一貫してきていることが生徒アンケートの結果からもわかる。今後も生徒の主体的な取組を継続し、基本的な生活習慣及び規範意識のさらなる育成に努めていく。	AAA	AAA
	日常の生徒観察や教育相談等を通して、生徒理解を深め、生徒との信頼関係作りを努めている。	A	日常の生徒観察や年2回の教育相談活動、各種アンケート、毎朝実施するシャボテンログ等を通して生徒理解の深化を図り、良好な信頼関係の構築に努めることができた。今後も継続的な面談や情報共有を通して、生徒理解に基づく指導の充実を図る。	AAA	AAA
	いじめや問題行動、不登校等の問題に対して、未然防止を含め組織的かつ丁寧に対応している。	A	いじめや問題行動、不登校等について、未然防止の視点を踏まえながら組織的な情報共有と丁寧な対応を行うことができた。今後も関係職員の連携を強化し、早期発見・早期対応に努めていく。	AAA	AAA
特別支援教育 インクルーシブ教育	一人一人の教育的ニーズを踏まえ、個別の計画に基づく支援、校内外の関係機関との連携、通常学級との交流及び共同学習を通して、特別支援教育とインクルーシブ教育を組織的に推進している。	A	個々の教育的ニーズに応じた支援を計画的に実施するとともに、関係機関との連携や交流及び共同学習を通して、特別支援教育及びインクルーシブ教育を組織的に推進することができた。通常学級の教員と特別支援学級の生徒の相互のコミュニケーションの機会も増えてきている。今後も校内支援体制の充実を図っていく。	AAA	AAA
安全教育 教育環境	施設・設備の管理体制を整え、防災教育等の安全や健康を守るための取組を行うことで、安全で快適な環境や生活の確保に努めている。	A	施設・設備の適切な管理や避難訓練等、安全を守るための取組を計画的に実施し、安全で安心して学校生活を送ることができる環境整備に努めることができた。また、シャボテンログの記録による健康状態の把握や、保体委員と連携した食育の取組等、健康の保持増進に関する取組も実施できた。今後も安全及び健康の管理体制の継続的な点検と充実を図る。	AAA	AAA
保護者や 地域との 連携	学校便り、学校ホームページ等で、家庭や地域に教育活動などの情報を発信している。	A	学校便りや学校ホームページ等を活用し、教育活動や学校の取組について家庭及び地域への情報発信を行うことができた。今後も内容の充実を図り、開かれた学校づくりを推進する。	AAA	AAA
	パートナー校の小学校を中心に、他校種との連携が図られている。	A	1月の小中一貫した教育の推進のための取組では、課題解決的な学習を共通テーマとした公開授業や、小中の連携をより一層高めるためのテーマごとの交流など、明確な目的をもって行うことができた。また、さっぽろっ子サミットに関連した取組から、小学校での活動を知り、本校での活動に生かすなど、『知る』から『つなげる』への移行の一步を踏み出すことができた。今後も継続的な交流及び連携の充実を努め、具体的な実践へと『つなげる』ことを意識する。	AAA	AAA
	家庭や地域との連携をとり、子どもたちの学びや生活の支援体制を充実させている。	A	家庭への連絡をきめ細かく行い、特に生徒指導関係の連絡については迅速に対応することができた。また、キャリア教育における北海道科学大学訪問や、家庭科の授業における前田幼稚園との交流等、生徒の学びの充実に向けた連携を図ることができた。今後も家庭との連携を密にするとともに、必要に応じて関係機関や地域との連携を図り、学びの充実及び支援体制のさらなる充実を努める。	AAA	AAA

学校関係者
評価者による
意見

・どの項目も適切に評価されています。特に、昨年度の課題に対し、的確な分析と明確な目標設定により、具体的な方策をとった結果が、生徒が生き生きと活動する様子や各種アンケート数値の上昇という形で如実に表れています。同じ方向を目指し高め合う学校力の高さに感銘を受けました。そのうえで、小学校での基盤づくりの重要性を再認識いたしました。

・行事が復活して子どもたちが楽しそうに活動しているのが印象的でした。色々課題はあると思いますが、これからも力を尽くしてもらいたいと思います。

・学校全体が一つになって教育活動を展開しているというエネルギーを感じる1年でした。そのエネルギーが生徒や保護者に着実に伝わっていることがわかる数値であり、上昇度であると言えます。また、学校祭や合唱コンを見学した際に、みんなで楽しんでいるということが感じられたのも素晴らしいと思います。ほとんどがAとしましたが、中にはS評価を付けたい項目(道徳や行事等)もありました。素晴らしい成果です。

・「基礎・基本の確実な定着を図る学習活動が行われている。」については、保護者評価、生徒評価が前年度比で上昇しておりますが、他の項目と比較しやや低めなことから、まだ伸びしろがあると考え評価の適切さはBとしました。また、改善の方策についても「一層の充実」の具体が一つでも二つでもあるとよいと思い、Bとしました。

・「家庭での学習につながる指導の工夫と改善により、自ら学ぶ習慣づくりを推進している。」については、唯一の自己評価Bの項目であるので、「こんなことを」という具体が見えるとよいと考え、Bとしま